

## 6.流域下水道事業

### 安威川流域下水道

安威川流域下水道は、淀川水系安威川の流域を処理区とした流域下水道で、昭和42年（1967年）9月に都市計画決定及び同事業認可を受け、昭和42年度（1967年度）から事業に着手し、昭和45年（1970年）3月に開催された日本万国博覧会にあわせて、中央処理場（現：中央水みらいセンター）では40,000m<sup>3</sup>/日の規模で通水を行いました。流域下水道の新設としては全国第1号となり、昭和47年（1972年）7月に供用を開始しています。

### 排除方式別面積

（全体計画）

処理区名	分流区域 (ha)	合流区域 (ha)	計 (ha)
中央処理区	6,241	2,512	8,753

### 構成市別人口・面積

（全体計画）

都市名	計画人口 (人)	比率 (%)	面積 (ha)	比率 (%)
吹田市	194,350	33.3	2,221	25.4
茨木市	244,560	41.9	4,132	47.2
摂津市	79,100	13.6	1,261	14.4
箕面市	49,830	8.5	705	8.1
高槻市	13,500	2.3	422	4.8
豊中市	2,380	0.4	12	0.1
計	583,720	100	8,753	100

### 中央水みらいセンター

位置：茨木市宮島3丁目1-1

敷地面積：225,880m<sup>2</sup>

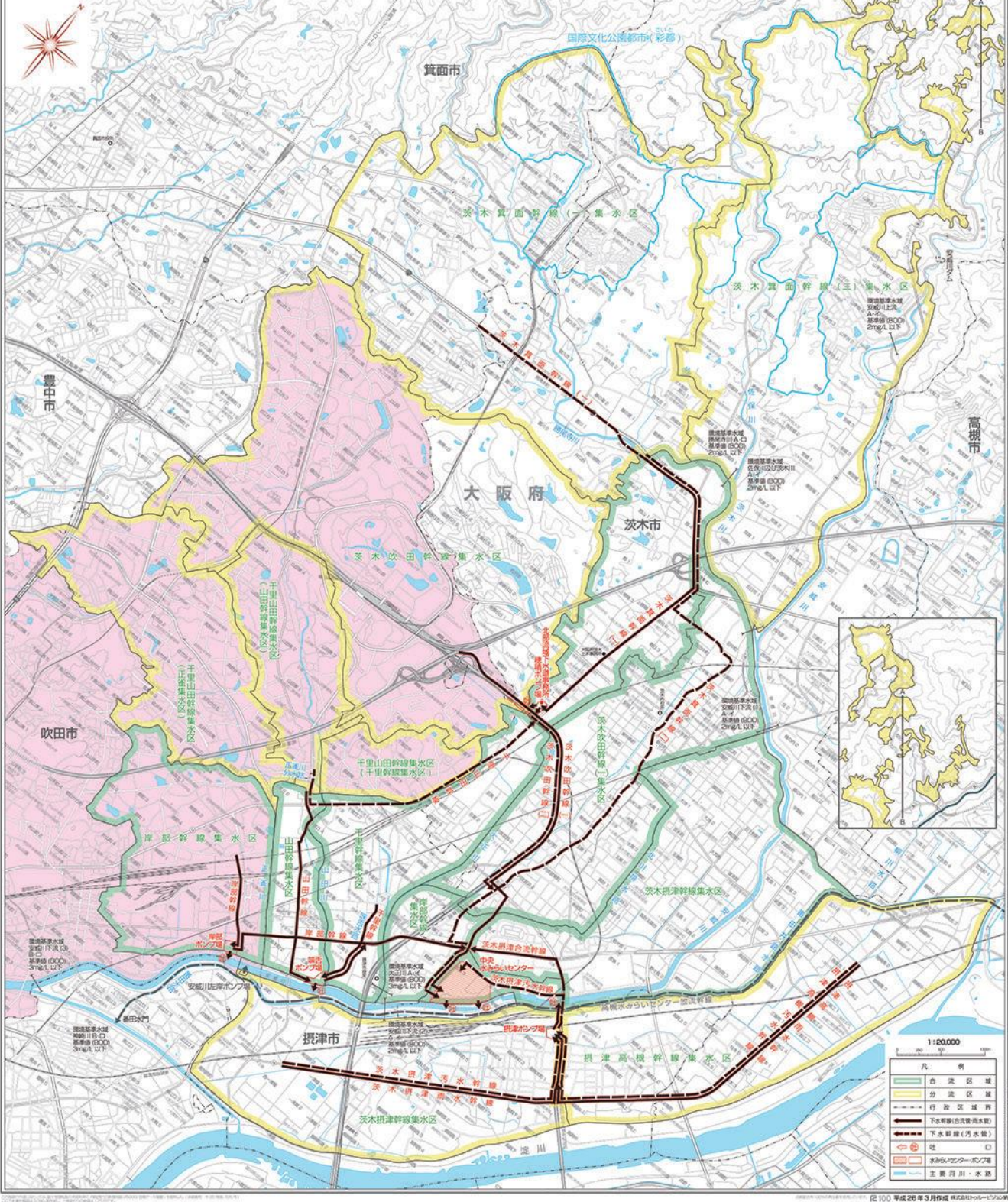


	全体計画	平成23年度末値
処理人口 (人) (人口普及率)	583,720	502,536 (99.2%)
処理面積 (ha)	8,753	5,632
処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	329,500	256,110
ポンプ場	4箇所	4箇所
処理方法	凝集剤併用型 ステップ流入式 多段硝化脱窒法 +急速ろ過法	嫌気・無酸素・好気法 +急速ろ過法 活性汚泥法 +急速ろ過法

# 安威川流域下水道計画図

管渠名	管径	延長(m)	管渠種別
茨木山田幹線(上)	Φ1000	14,074,200	分岐管
山田幹線	Φ1000	3,000,000	分岐管
山田幹線(下)	Φ1000	5,900,000	分岐管
山田幹線(下)	Φ1000	3,500	分岐管
千早幹線	Φ1500	3,700,400	分岐管
茨木山田幹線(上)	Φ700	1,000,100	分岐管
茨木山田幹線(中)	Φ700	4,200	分岐管
茨木山田幹線(下)	Φ700	1,000,100	分岐管
茨木山田幹線(下)	Φ700	3,000,000	分岐管
茨木山田幹線(下)	Φ700	4,700,000	分岐管
茨木山田幹線(下)	Φ700	5,400	分岐管
茨木山田幹線(下)	Φ700	1,800	分岐管
茨木山田幹線(下)	Φ700	1,800	分岐管
千早山田幹線	Φ1000	2,000	分岐管
計		34,600	

流域名	市町村	排水面積(㎡)
安威川	茨木市	2,281
	高槻市	402
	茨木市	4,132
	摂津市	306
	摂津市	1,261
	高槻市	27
	計	8,703



(Pink outline)	自然区域
(Yellow outline)	分界区域
(Blue outline)	行政区域
(Dashed line)	下水管渠の計画線
(Solid line)	下水管渠(汚水管)
(Red circle)	樋口
(Red square)	おろしポンプ
(Blue line)	主要河川・水路